

MM工学研究Ⅰa 中間報告資料テンプレート

テンプレファイルの注意点

texファイルの中身やその他ファイルの構成についても基本的に 卒論テンプレからの変更などはありません。テンプレから変更したのは以下の部分です。

- BibTeXの処理についてreport_1a.texの一部を以下のように書き換えています。

```
%\bibliography{./ref} % default
\bibliography{ref} % change "./ref"(default) to "ref"
```

- 参考文献で著者が"K.Y.Lin"などの略記の際に、半角スペースを入れて"K. Y. Lin"となるようにieice.bstの一部を以下のように書き換えています。

```
{s nameptr "{f{.}.~}{vv~}{ll}{, jj}" format.name$ 't :=}
{s nameptr "{f{. }.~}{vv~}{ll}{, jj}" format.name$ 't :=}
```

- "参考文献"の字が他セクションの字より大きいのでieice.bstの一部を以下のように書き換えています。

```
%\chapter*{参考文献 \@mkboth
\section*{参考文献 \@mkboth % 追記 default: \chapter*{参考文献
```

以下、メールの内容をまとめたものです。

研究Ⅰについて

研究Ⅰでは、関連分野の研究動向調査を実施してもらいます。テーマとして設定した研究分野の全体を網羅的に調査して自身の研究の位置付けを明確にすることが目的であり、単に少数の関連論文紹介を並べただけのものは不可とします。修士論文の関連研究セクションをイメージしながら、既存研究をカテゴリーごとに俯瞰的に整理し、自身の研究との関連性を議論してください。

研究ⅠはⅠa（春夏）とⅠb（秋冬）の半年科目2科目で、それぞれ提出するレポートで別個に成績をつけます。レポートの提出前にも、改めて下記の案内をよく確認してください。レポート提出以外に研究Ⅰの進捗に関するチェック機構は特に設定しませんので、指導教官の指示に従って確実に進めてください。

セミナーⅢについて

セミナーⅢでは、上記の研究Ⅰで調査した内容を発表してもらいます。1人あたり15分（発表10分、質疑応答5分）の持ち時間で発表会を開催する予定です。スケジュールは秋冬学期開始後に連絡しますが、例年1月中旬に開催されています。早めに準備するようにしてください。

中間報告資料について

- 中間発表資料の様式：様式自由、分量目安 A4 2～3ページ
- 中間発表資料の章立て(参考:必ず従う必要はない)
 - 研究の背景
 - 調査対象分野の概要
 - 関連する研究の説明（中間進捗）
 - 研究動向調査の今後の予定
 - 参考文献リスト

締切：7/21（水） 23:59

提出はCLEより行う。レポートのファイル名は次のように設定すること。

MMIa_学籍番号.pdf

学籍番号、氏名はレポートの先頭にも記入すること。

その他注意事項

研究Iaで提出する中間報告には、「研究動向調査」としての今後の予定を忘れずに記述してください。自身の研究の今後の予定があってもかまいませんが、追加調査が必要なトピックや研究分野の整理方法の追加など、最終報告資料の完成のために必要な作業を整理し、全体の見通しを立てるようにしてください。